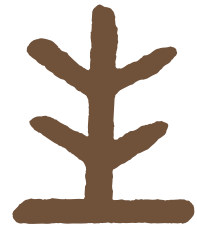


高槻地区保護司会だより

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内
〒569-0065 高槻市城西町4番6号
☎ (072) 674-7684
〔責任者〕 高槻地区保護司会
会長 松本 大
〔編集〕 広報部



人はみな
生かされて
生きてゆく
更生保護ネットワーク

第73回 “社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



高槻市立冠中学校ブラスバンド部

◆オープニングセレモニー

と き：7月1日（土）17：00～18：00

生憎の雨で、生涯学習センター1階にてオープニングセレモニーとなり、パレード・消防音楽隊の演奏はできませんでしたが、多数のご出席を賜り社明の強調月間の開始が宣言されました。

◆中央集会

と き：7月2日（日）13：30～16：00

ところ：高槻市生涯学習センター2階
多目的ホール

講演：一般財団法人児童虐待防止機構
オレンジCAPO 理事長 島田妙子さん
「虐待の淵を生き抜いて」
～大人も元気で子どもも元気～

演奏：高槻市立冠中学校ブラスバンド部

参加総数は、約200名で昨年を大幅に上回りました。

◆更生保護茶会・矯正施設等作品展示即売会 (主催：高槻地区更生保護女性会)

と き：7月8日（土）10：00～15：00

ところ：ホテルアベストグランデ高槻

ご来場数は600名超となり大盛況でした。

◆地域集会の実施

各地区において、さまざまな取り組みが実施されました。

目次

【1面】第73回 “社会を明るくする運動” 報告

【2面】中央集会 第1回自主研修会 退任挨拶

【3面】作文コンテスト優秀作品高槻市立第七中学校

【4面】作文コンテスト優秀作品高槻市立第八中学校

【5面】退任挨拶 新任挨拶 人事消息

【6面】会員文芸欄 あとがき

— 私の保護観察日記 —

高槻・大冠地区

門川 繁美

保護司になって13年経ちました。多くのケースを担当させていただいたはずですが、当然何の資料も残っていません。加えて、後ろを見ない性格のため、件数とか内容はほとんど覚えていません。乏しい記憶の中に、落ち込んだ記憶があります。

— 随筆 —

何歳になっても

三箇牧・如是地区

坂田 隆志

こどもの頃に、休日の夕刻になると、明日は学校かと、何となく憂鬱になることがあります。また、夏休みが終盤になると、とても寂しい気分を感じることが、毎年のことでした。

そんな話を小学生の孫たちと、話していると今

当時担当していた3件の少年たちが次々と再犯を繰り返したのです。面接に来ない、連絡がでないなどが続くと再犯が近いと覚悟して対応する必要があります。

また、面接をしても寡黙な少年が多く、問いかけに返ってくるのは一言のみ。この対応には疲れしました。1人だけ饒舌な少年を担当したことがありました。バイクでの数々の悪さを語ってくれ、

波乱万丈ともいえる体験談は面白く、次を期待するほどでした。「やったらかんで」と注意すると「もうガキやあらへん。卒業した」という返事に驚かされました。

また、面接をしても寡黙な少年が多く、問いかけに返ってくるのは一言のみ。この対応には疲れしました。1人だけ饒舌な少年を担当したことがありました。バイクでの数々の悪さを語ってくれ、

も昔も変わらないなあと、感じてしまいます。孫たちは「じいじはそんなこと無いよね」と聞きますが、私は「いいや、歳はとつても同じ気持ちがある」と言う。「へー！」と納得します。

昨年4月に、高槻に関西将棋会館が誘致される事を記念して、高槻市内の木材を使って製作した将棋の駒を、孫が、小学校入学時に配付されたこと、貫つてきました。それを期に、我が家では、将棋ブームが起こり、私も、

孫の対戦相手に選ばれ対局するようになりました。69歳対8歳の孫相手の対局ですが、手抜きをせずに真剣に取り組んでいます。おかげで、負けることも無く、じいじの、面目は保たれて居ります。

妻からは、そんな様子を見ていて「大人げない」とか「たまには勝たせるよう」に言われています。人生、何歳になっても真剣勝負で行きたいものです！

あとがき

あるご縁で、この春から小さな子ども達と関わる機会を得た。

目が合うと、にっこりしてくれる児にほっこりする。眼力があるやんちゃそうだが、やさしい言葉かけができる児に感動する。

キラキラ輝く目、かわいい笑顔、素直な心の子ども達に日々幸せをもらっている。

これから、どこで、どんな風が変わっていくのかと、対象者を思い浮かべながら考えるこの頃である。(峯)

光華女子大学臨床心理学部大学院生が「保護司の保護観察の中で、直面する困難と心理的考察」(依頼)について、昨年に引き続き井本研修部長の指導を仰ぎながら、高槻地区保護司会を中心に研究を進める予定です。保護司会の皆様には、インタビュー、アンケートへの回答など、御協力、御造作をお掛けいたしますが、宜しく御指導ください。(池)

厳しい残暑。ここ数年、秋がなくなり、夏から冬になっている。今年の夏の猛暑と雨不足は、コメの粒が小さくなる高温障害を引き起こし、収量や等級が落ちていく。秋冬野菜の苗も、収量不足が懸念されている。冬に向けて秋野菜を食べるべきだが、高くなると食べづらい。そして、こう暑くては冷たいものが欲しくなり、からだはどんどん冷え症に……。 (濱)

ききよう俳壇

秋の風古刹に芭蕉の句碑寂びて

さ霧立つ六甲の峰幾重にも

名誉会員

緋田

正俊

また一人友の訪れ今朝の秋

吾子帰る前の日母の夜なべかな

松本

大

ききよう歌壇

入院せし私に知らせる夕食の

豪華メニューにただおどろきぬ

夫から毎朝ラインで定期便

庭のお花の可れんな姿

名誉会員

澤田

浩子

念願の冷房はいり道場は地獄の

稽古が天国のよう

灼熱の光と雲と青い空織りなす

姿夏の醍醐味



愚

狂

人



社明オープニングセレモニー



中央集会に参加して

7月2日（日）生涯学習センター2階多目的ホールで中央集会が開催されました。推進委員長濱田高槻市長と来賓の方々の挨拶のあと、一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長島田妙子氏の講演と高槻市立冠中学校プラスバンド部による演奏がありました。

「虐待の淵を生き抜いて」と題する講演では、父親から壮絶な虐待を受けた経験を通して「虐待」だけでなく「命」「愛」「子育て」「障がい」「介護」といった幅広い内容のお話でした。サブタイトルは「大人が元気で子どもも元気」でしたが、「大人が元気で社会も元気（明るい）」と思いました。

演奏会では、冠中学校プラスバンド部の皆さんによる若々しく、元気で、リズミカルな演奏を楽しく聞きました。（広報部 西畑）

おつかれさまでした

このたび定年で杉原尚氏と目良恒郎氏が退任されましたのでご挨拶をお願いしました。退任後のますますのご活躍を期待申し上げます。

退任にあたって

高槻・大冠地区 杉原 尚

平成21年9月25日付で、保護司を拝命（高槻保護区に配属）して14年間、保護司の皆様方には大変お世話になり厚くお礼申し上げますとともに感謝いたしております。ありがとうございました。

この間、主に青少年を中心に対応いたしてまいりました。子どもの精神的に不安定な時期、状態に寄り添い、事にあたってまいりました。

大人達が子どもにどれだけ親身になって関わったであろうか、また、幼少期に親の肌の温もりを感じて成長したのか、色々なことも想像しながら、事件に至る経緯に思いを寄せ対応してまいりましたが、我が子どものしつけ教育が十分に出来てい

第1回 自主研修会

日 時 令和5年8月7日（月）13：30～15：00

会 場 高槻市地域福祉会館3階 研修室

テーマ 「非行・犯罪と家族 家族療法のアプローチ」

講 師 立命館大学特任教授 廣井亮一 氏



第1回自主研修会

たであろうか未だにその思いがあります。

子ども達の成長は早く「結婚しました」「子どもが出来ました」「だっこしてあげて」など涙が出るほど嬉しかったこともあり保護司を勤めさせていただいて良かったなと思うことも一度ならず何度も味あわせていただき、負うた子に教えられの思いもすることもありました。

思いは走馬灯のように巡りますが、多くの人々との関わり等、保護司でなければ経験出来ないことも、感謝いたしております。

現役で活躍されている保護司の皆様方、また、関係者の皆様方、改めましてお礼申しあげます。ありがとうございました。

皆様方の御健勝と御活躍を祈念申しあげます。ありがとうございました。

お世話になりました

高槻・大冠地区 目良恒郎

「たかが14年、されど14年」、大阪府警を退任し、さあこれから2つのボランティアに専念しようと思っていましたが、昔からの知人である勝田先輩に、「保護司になれ」と言われ、軽い気持ちで引き受けました。まだお互いの顔も知らない時、犯罪予防部だったら、と入部したらその年から地域活動部に名前が変わり、“社会を明るくする運動”を担当することになりました。入部した途端先輩数人の策略で部長にさせられ、結局当時一番若かった松田保護司が私より大先輩ですべてを教えてくださいました。上手いくはさすが途中でおかしなアクシデントがあり、「ああこれが何も知らな

新 会 員 ・ 自 己 紹 介



ふな こし まさ ひろ
（高槻・大冠地区） 船越 正浩

学生時代に過ごしていたアメリカでは、日本では想像も出来ない数の犯罪や暴力が頻繁に身近に発生していました。そうした環境の中で異国の人種同士が仲良く助け合う大切さを学びました。人が心から生きる喜びを感じることが出来るように、慣れないながらも戸惑いながらも保護司として地域にお役に立てるようにがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ふく おか たけし
（五領・磐手地区） 福岡 毅

磐手地区の福岡毅です。父が保護司をしていて、一緒にやらないかということがきっかけで、保護司という立場をいただきました。社会的に、非常に重たい立場であり、自分ができるのか、不安な気持ちでいっぱいでしたが、新任保護司研修会を受講し、やり甲斐のある仕事だと感じました。一生懸命に努めさせて貰いますので、よろしくお願いします。



やぶ た まさ み
（三箇牧・如是地区） 藪田 雅己

先輩諸氏のご推薦を得て、この5月に委嘱を受けました。長年、西成区あいりん地域で日雇労働者への無料職業紹介、種々の労働相談を行ってきました。その中には刑余者の方もおられ、忘れられない方もいます。これから保護司の任に耐えうるか心もとないですが、ご指導を賜り、その任を全うできるよう努めてまいりたいと思います。

い私を部長にした理由だな」と分かりました。今はお亡くなりになられた大先輩の皆さんも協力してくださり何とか乗り切りました。すべての行事に参加し、サポートセンター等ではほとんどの方達の名前や性格を知り、それが以後の活動に大いに役に立ちました。年齢も仕事も違うのに本当に良い人達が多く楽しく活動ができ、これも各行事に参加して交流を深めたからだと思います。私にとって人生の大きな財産となりました。

保護司制度73年の内の14年間の在籍でしたが密度の濃い14年間でした。研修も100%受けましたが、これだけでは十分ではなく、やはり自分から組織に飛び込んでその一員となることだと思います。

最後に皆様のご活躍を祈念して退任の挨拶とします。



まつ おか みち ひろ
（三箇牧・如是地区） 松岡 道弘

5月25日付けの委嘱を受けました三箇牧地区の松岡道弘です。3月末まで高槻市青少年指導員を行っていました。新任保護司研修後期を受講し、ようやく保護司の入口に立てたような思いです。現在は民生主任児童委員と保護司の二刀流となり、今後先輩保護司の先生方にご指導をいただき、頑張っていきたいと思っています。



みや わき とも ゆき
（三箇牧・如是地区） 宮脇 智幸

保護司とは名称は聞いたことはありましたが実際に何をしているか知りませんでしたが、研修等で何をするかを聞き、初めて大変な職務内容だと感じました。

ただ自分に出来るか出来ないかはやってみて判断をしたいと思っているので、まずは挑戦してみようと思われました。PTAや自治会、民生委員も経験していますが保護司の仕事も勉強して少しでも地域の為に自分にできることを自分らしく頑張っていきます。

まだまだ分からないことが多いですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

人 事 消 息（敬称略）

〔退任〕…（高槻・大冠地区）杉 原 尚
令和5年9月24日付（高槻・大冠地区）目 良 恒 郎

〔新任〕…（高槻・大冠地区）船 越 正 浩
令和5年5月25日付（五領・磐手地区）福 岡 毅
（三箇牧・如是地区）藪 田 雅 己
（三箇牧・如是地区）松 岡 道 弘
（三箇牧・如是地区）宮 脇 智 幸

第73回“社会を明るくする運動” 高槻地区推進委員会 作文コンテスト優秀作品

「受け入れることで変わること」

高槻市立第八中学校1年 小林 怜祥

僕が小学五年生のとき「非行防止教室」という授業を元警察官の方がしてくれました。その授業では、薬物の危険性や、中学生でも犯罪を犯してしまう人が多いという内容を学びました。僕は、授業の最後に一つ質問をしました。「もしも犯罪を犯したら、刑務所や少年院に収容されるとおっしゃっていましたが、その期間が終わったらどうなるんですか」と。そこで返ってきた答えは「出所後は、勉強に励んだり、就職する人がいます」というものでした。でも僕の頭の中にはまだ疑問がたくさんありました。例えば「出所後に住む家が無かったらどうするのか」「出所する時にお金を持っているのか」など。

みなさんが嘘をついた時「嘘つき」と言われるように、犯罪を犯してしまうと「犯罪者」と世間から言われるようになります。これは嘘とは違い、簡単にかき消すことができないものなのです。また、犯罪を犯すとすぐにテレビ、インターネット、新聞などありとあらゆる媒体で情報が拡散されるので、隠すこともできません。かき消すことも、隠すこともできないのであれば、出所後に社会に戻ると、会社の人や友人までも「犯罪者」と言われてしまうかもしれません。たとえ言われなくても、避けられてしまうと思います。僕も実際、冗談でついた嘘で「嘘つき」と言われ、周りから自分が避けられている感覚がありました。

せっかく社会に復帰できたのに、周りにこのような態度を取られたら、みなさんはどう思うのでしょうか。この先頑張って生きていこう、やり直そう。果たしてそういった気持ちになることはできるのでしょうか。やる気があり、就職しようとしても、あらゆる手段を使って情報は拡散されます。ですから、就職はきっと難しく

なります。なぜなら、一度失った信頼を取り戻すのは難しいからです。もし就職できたとしても、元受刑者が働いていると知ったら、取引先の会社は、取引をやめるかもしれません。そのぐらいこの国では、受刑したことがある人は、生きづらい社会なのです。

日本の再犯率は非常に高いです。この現状があるのも、元受刑者が生きづらい環境にあるからではないでしょうか。これを解決するためには、みんなが少年院や刑務所の実態を知る必要があると思います。少年院や刑務所は非常にルールが厳しいです。食事や布団の片付け、作業など生活の全てが細かいルールで決められています。自分で自由にできていた生活から、全てを管理される環境に置かれたら、人はきっと更生すると思います。犯罪を犯してしまった人は、ここで人として大切なことをしっかり学び直し、社会で人の役に立てるよう一生懸命頑張ったのに、いざ出所したときに「犯罪者」と言われたら、この上ない悲しみを実感すると思います。この気持ちは、実際に経験した人以外が理解することは難しいと思います。

こういった少年院や刑務所の実態、そして元受刑者の努力を知ること、更生した人に対する差別がなくなり、元受刑者を受け入れる社会に少しでも近づいていくと思います。世の中の人に、少年院や刑務所のことを知ってもらうためには、みんなが声を上げることが大切だと思います。もちろん、元受刑者で生き地獄を経験したことがある人も。当事者が声を上げ、現実を伝えることで一人一人の意識が変わることがよくあります。ですからみんなで声を上げ、更生した人が差別されることなく、生きやすい社会を作っていきませんか。

第73回“社会を明るくする運動” 高槻地区推進委員会 作文コンテスト優秀作品

「仲間として助け合うために」

高槻市立第七中学校1年 上田 優月

この作文を書くにあたって、そもそも「非行」とは何かについて考えた。中学生の私が思いついたのは、殴り合い・悪口・万引き・暴走族などだ。こういう行動をしている人とは関わりたくない。また、いい年をした大人が「昔はこういうことをしてたんだよね」と悪さを自慢するのも残念だと思う。たとえ、今きちんとしている人であっても、そう思ってしまう。

では、なぜ私と同じくらいの人々が非行に走ってしまうのか考えてみた。その人には、ストレスがあるのかもしれない。そして、家族が非行をとめてくれないのかもしれない。家族とのいごちが悪く、気の合う友達と非行を楽しんでしまっているのかもしれない。一人じゃないから、気が大きくなってエスカレートしているのかもしれない。でも、悪さをしていたら必ず捕まる。捕まってから、初めて、自分たちの行動は周りの人たちに迷惑になっていたことに気づく。でも、できれば捕まる前にそのことに自分で気づいてほしい。

しかし、一方で私はこのようなことをする人たちに関わりたくないと思っている。非行をした人たちが反省してもどってきても関わりたくない。でも、非行に走っている人の中には「自分で」ができない人も世の中にはたくさんいる。私のように関わりたくないだけで終わらせるのではなく、私たちにできることは何か考えることが必要だ。

そこで、私なりに五つ考えてみた。一つ目は「社会に復帰した人の『反省した』を信じる」これは意外と難しいと思う。例えば「本当に社会復帰できる?」「絶対無理やろ」と思ったり、うわさしたりしてしまうかもしれない。そうすると、がんばる気持ちを否定され、もう一度非行に走ろうと思ってしまうだろう。信じるとい

うのは簡単だけど難しい。最初は信じがたいけど、少しずつ信じていくことが私たちにできることだろう。

二つ目は「そっと声をかける」。これなら、誰でもできると思う。「こんにちは。よろしくね」。この一言をかけるだけでも、安心して復帰できることにつながるだろう。

三つ目は「得意なことや趣味について話す」。私は、一番大事なことだと思う。なぜなら、趣味を変えられるからだ。例えば、暴走族だった人は、きっとバイクが好きだろう。ちなみに、私ならカメラが好きだ。「趣味は何ですか? バイクと一緒に写真を撮りに行きませんか? おすすめのスポットとかあるんです」。と誘ってみることが良いと思う。このように、こちらから歩みよって、非行をしていた時の仲間にあたっても、楽しめる趣味のグループができたら良いと思う。

四つ目は「困っていたら少しでも声をかける」。一人で悩むというのはストレスになり、非行につながるかもしれない。「大丈夫ですか」と一言かけるだけで、気持ちが楽になるかもしれない。

最後に五つ目「非行を繰り返しそうになったら声をかける」。仲間には注意されると、今まで信じてくれた人に対して、そんな簡単に裏切ることにはできないから。だから、仲間と思ってもらえるように、社会全体が協力して助け合えるには、ちょっとした関わりを持つことが大切だと思う。

